

村瀬治兵衛 漆の仕事

木に導かれるかたち

9月4日(金) - 13日(日) 本館6階 和光ホール
10:30 - 19:00 最終日は17:00まで

◎会期中、作家は全日在廊の予定です。

漆芸家・村瀬治兵衛さんによる和光では初めての個展を開催いたします。木地師としては七代目、漆芸家としては三代目を継承し、木地作りから塗りにいたるまでの全工程を自ら手掛けています。稀少な原生林から切り出された木を見極め、その素材に導かれるようにインスピレーションを得て、一木を剥り貫く、削る、彫る。それらの大胆さのベースには、薄挽きの技術力が裏打ちされています。独自の造形美と機能性を兼ね備えた作品は、同時代のアートとしても国内外から高い評価を得ています。今展では、独創的な新作の水指を中心に、格調高い茶器や菓子器などの茶道具、花器、膳、椀、皿、茶箱など100余点が一堂に会します。ぜひご高覧ください。



「根来塗瓶子」径13.7×高さ15.7cm



「根来塗輪花盆」23.8×24.6×高さ8.2cm